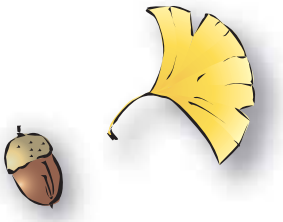
Nishitokyo City
西東京市 議会だより

第35号
平成20年11月1日
（2008年）

〒188-8666 西東京市南町5-6-13　042-464-1311　編集／議会報編集委員会　発行／西東京市議会



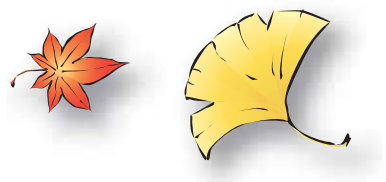
平成20年
第2回臨時会
第3回定例会



「秋を楽しむ」
観音沼の紅葉
（福島県南会津郡下郷町）

観音沼は、西東京市の姉妹都市である下郷町の観音沼森林公園内にあり、神秘的なムード漂う沼です。周辺は、遊歩道が整備されていて、四季折々の美しい景観が楽しめます。下郷町は、観光にも力を注いでおり、「塔のへつり」「大内宿」が有名です。

主な内容



西原保育園の園舎建替工事契約について同意

契約金額は2億2,858万5千円

第2回臨時会では、西原保育園の園舎老朽化による園舎建替工事（建築工事）契約の締結について賛成全員で同意しました。工期は、平成21年3月6日までです。

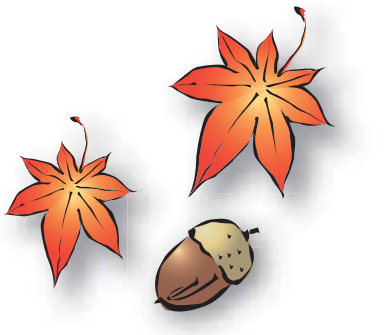
⇒詳しくは6面「臨時会の審議から」をご覧ください。

一般会計・特別会計補正予算を可決

一般会計は、当初予算に13億5,043万6千円を追加

第3回定例会では、一般会計のほか7つの特別会計の補正予算を、いずれも賛成全員で可決しました。一般会計補正予算の主な内容としては、歳入は大手法人等の業績による法人市民税の増額など、歳出は法人市民税の還付、西原保育園園舎新築等工事、小中学校の屋上等の天窓墜落防止対策に伴う工事による増額などとなっています。

⇒詳しくは7面「予算の審査から」をご覧ください。



○第2回臨時会　会期…7月3日(木) 1日間
○第3回定例会　会期…9月5日(金)～25日(木) 21日間

	審議件数	可決・採択	否決・不採択	継続審査	撤回
議　案	28(1)	18(1)		10	
予算(補正)	8	8			
条　例	10	9		1	
決　算	9			9	
その他	1(1)	1(1)			
委員会提出議案	3	3			
議員提出議案	10	8	1		1
請願・陳情	36	12	10	14	

※「可決・採択」には同意・趣旨採択を含んでいます。
※「否決・不採択」には議決不要を含んでいます。
※件数は臨時会と定例会の合計で、括弧内は臨時会の件数です。

議員の寄附行為や時候のあいさつ状は禁止されています

議員は、選挙区内の人にお金や物を贈ったり、年賀状などの時候の挨拶状（答礼のための自筆によるものは除く）を出したりすることを法律で禁止されています。

地域の会合等の行事に差し入れをすることや、お祝い金や賛助金を出すこともできません。

市民の皆様のご理解をお願いいたします。



お歳暮など



年賀状など（答礼のための自筆によるものは除く）

紙面の紹介（今号のもくじ）

○一般質問、用語の解説（4面）
……2～6面
○臨時会の審議から……6面
○委員会の審査から、予算の審査から、会議の開催状況……7面
○議案等の議決結果、意見書、お知らせ、編集後記……8面

「声の市議会だより」をお届けしています。
（録音テープ）

お知り合いの方でご希望の方がいらっしゃいましたら中央図書館（☎042-465-0823）へお問い合わせください。

一般質問（1）

一般質問の要旨

第3回定例会では、29人の議員が一般質問を行いました。ここでは、その主な質問内容についてお知らせします。なお、質問内容については、各議員が執筆し、その責任のもとに掲載しています。
※会議録（第3回定例会分は11月下旬発行予定）は、市内の図書館・両庁舎の情報公開コーナー、議会事務局に備えてあります。また、ホームページでもご覧いただけます。

凡　例
西東京自由民主党・無所属（自民・無）
西東京市議会公明党（公明）
民主党・社民クラブ（民主・社）
日本共産党西東京市議団（共産）
生活者ネットワーク（生ネ）
無所属（無所属）

中学校給食検討委員会の中間報告と、子どもの権利条例について

田中　のりあき（自民・無）

質問 給食親子方式で親になる小学校は調理業務民間委託校だが、それよりも条件のいい直営校がある。直営校と民間委託校の入れかえも検討すべきでは。

答弁 要件を備えた直営校を、民間委託に切りかえる方法もある。配置がえ等も検討する。

質問 子どもの権利に関する条例の「権利」と国連の権利条約とのニュアンスの違いがあるのではないか。

答弁 英語のライトと、日本語の権利とはニュアンスの違いがある。条例策定に当たり、言葉の使い方にも十分かつ慎重に配慮する。

質問 3・4・21号線整備に当たり、事務所等の設置と、早期のエレベーター等の整備、また、にぎわいのある商店街づくりとは。

答弁 事務所については、進捗状況を見ながら具体的に検討する。エレベーター等についても、西武鉄道と協議を進め、早期整備の実現に向け努力する。商店街の皆様とも意見交換をする。

質問 介護予防事業の講座修了者の効果の検証、また介護予防ボランティアの活用についての考えは。

答弁 講座の事前と事後にアセスメントを行い、一定程度効果が上がっている。介護予防ボランティアは、養成講座を来年2月に行う。



東伏見駅北口第1・B自転車駐車場

提言し続けた駐輪場100円統一！東伏見周辺の課題への取り組み

稲垣　裕二（自民・無）

早大グランド通り

質問 市道113号線の拡幅をすべきと考えるが。

市長 拡幅整備は難しい課題が多いが、安全対策は重要課題であり、現道の改修での安全対策を考えている。

質問 U字溝等の改良の余地はあると思うがどうか。

都市整備部長 U字溝の改修や電柱の位置等歩行者空間の確保の検討を進める。

東伏見駅駐輪場

質問 再三申し上げた一時利用料金100円統一を10月より実現していただいた。東伏見駅北口第1・B駐輪場閉鎖への今後の対策は。

市長 本年12月末日で返還する。近隣に新たな駐輪場を確保できるよう努力する。自治体健全化法について

質問 より厳しい自治体監査が求められる。会計部門の強化は監査体制の強化に通じると思うがどうか。

市長 行政内部においても、正確に事務事業を行うことは重要である。

質問 本市の起債の償還能力を加味した償還可能な年限を算出し公表しては。

企画部参与 指摘に沿って、将来負担を考える1つの指標として検討していく。防災訓練について

質問 本年は中止となったが、今後どうするのか。

市長 防災意識の啓発を目的とした事業を実施したい。

ごみ問題・市内溢水地域対策　北原交差点周辺交通問題について

小林　たつや（自民・無）

質問 19年9月からの戸別収集、翌年1月から始まった有料化、指定袋収集から8カ月が経過したが、その効果と弊害、集積所のトラブル、有料化の考え方を伺う。

答弁 不燃ごみが半分以上資源化され可燃ごみも20％の減量を達成している。

集積場では収集日、分別方法が徹底されず、トラブルがあり、悪質な場合には警察の協力も仰ぐ。

有料化については、ごみの減量と資源化に一定の効果を出している。

意見 ごみ収集カレンダーのさらなる充実を、有料の指定袋の料金は近隣市との整合性を持たれたい。

質問 市内50カ所以上ある溢水地域への対応は。

答弁 地表の多くがアスファルト等に覆われ、低地では高い箇所からの流入が起きてしまう。今後は、施策全体を見て対応したい。

意見 溢水は温暖化が主な原因だが、特にひばりが丘4丁目周辺に対し、市としても早急な対応を望む。

質問 北原交差点の工事は。

答弁 歩道橋かけかえ、車道線形変更、歩道の拡幅を行っている。所沢街道から西側は今回計画していない。

意見 通過車両のためでなく、道路は市民のためにある。旧道部分の中央分離帯の撤去を強く要望する。

市長選・公約達成度が問われる！市民との公約検証・具現化目指せ

大塚　光男（自民・無）

質問 将来のまちづくりに重要な後期基本計画策定は。

答弁 来年2月末を目指す。

質問 行政評価結果を踏まえ、今後の取り組みは。

答弁 予算・計画に反映する。

質問 東大農場整備に伴い、公共機関誘致の取り組みは。

答弁 連絡会を活用し協議。

質問 ひばりが丘団地の基本協定見直しに伴い運動施設等の整備に変更はないか。

答弁 スポーツゾーン整備に変更はない。

質問 文化芸術振興条例制定の進捗と文化・スポーツ行政の所管組織のあり方は。

答弁 組織再編議論と並行して検討を進める。

質問 東京国体で新種目「ティーボール」を産官学民の協働で本市で開催する考えは。また、学習指導要領に基づく導入は。

答弁 選択肢の1つとして検討する。また、新しい教材として情報提供していく。

質問 防災市民組織充実を。

答弁 組織率向上を図る。

質問 防犯対策について。

答弁 犯罪抑止に努める。

質問 地球温暖化対策推進計画の策定について。

答弁 喫緊の課題と認識している。

質問 はなバス運行事業見直しと、取り組みについて。

答弁 財政を考慮して実施。

要望 中学校給食実施に向けて、早急な取り組みを。

都市基盤整備は着実に進めよ　20万都市のまちと人のあり方

海老沢　進（自民・無）

市長 ご意見として伺う。

質問 市長は、就任時に多くの市民の意見を聞くために、基本的政治姿勢として愚直に車座集会を進めると言った。最近、庁舎入口・エレベーターに案内が見えないが、放棄されたのか。

市長 市民参加の方法を検討し、対応していきたい。

質問 西武池袋線連続立体化の取り組みについて広域行政圏で課題・問題の調査研究を行っていると聞くが、いつまで検討するのか。市独自の提案を考えないのか。

市長 調査研究結果、市民、議会、都、鉄道事業者の意見を踏まえ検討する。

質問 調布保谷線で分断される生活道路の情報公開を。

市長 市民への情報公開と説明をするよう都に求める。


北原交差点の歩道橋

東大農場整備計画

質問 新整備計画では、南側に約1万5千㎡、その他にも広大な土地処分が計画されているが。

答弁 まちづくりの覚書を大学と交わした。処分地は公的利用を希望していると聞いており十分協議していく。

田無駅南口地域整備

質問 IHI跡地開発の人口増や道路混雑等への対策は、新居住者の通勤・通学や買い物等の目先を武蔵境方面でなく、田無方面に向くようにする必要があるが。

答弁 南口周辺整備は市の後期基本計画に位置づけ、今後検討を進めていく。

西東京ブランド

質問 周辺市では農産物等のブランドづくりに力を入れている。今後のブランドづくりの考え方は。

答弁 農家の「めぐみちゃん」キャラクターのほかに食の文化、スポーツ、市民まつり、文化祭などさまざまな分野で広く市の特色を探っていきたい。

全国学力テスト

質問 朝食を毎日食べる、読書する、家族と話す生徒は、テストの正答率が高いと相関関係が確認されたが。

答弁 本市は、小・中学校ともテストの正答率は約7割で、児童の学力、生活習慣などは、おおむね良好ととらえている。

一般質問（2）

西東京市は大丈夫か！財政・環境・教育について

小峰　和美（自民・無）

質問　燃料高騰に伴う財政。

答弁　予算編成時には想定できなかった経済情勢だ。社会福祉協議会、配食サービス事業者、障害者の福祉作業所等についても事業費全体の中で対応する。

質問　減災について。

答弁　地域防災計画の見直しの中で減災目標を設定し、災害時の被害を抑える。防災訓練は実効性のあることが重要だ。数日来継続した雷雨により、やむを得ず中止した訓練は、今年度中に何らかの事業を実施したい。

質問　環境（土壌）汚染について、ＩＨＩ跡地の六価クロムや、かつての住友重機などのテトラクロロエチレンや鉛など、人体に影響があることを示したか。

答弁　汚染物質の詳細な情報は広報しなかった。今後は市民の健康は絶対守る姿勢を進めていきたい。

質問　チャンピオン体育について。今年は北京オリンピックだ。才能を引き出すすばらしい指導者を見出せ。

答弁　多様な専門性を持つ講師及び地域人材と連携を図り、技能向上を図る。

質問　全国学力・学習状況調査の結果について。

答弁　学力向上を図るため、児童生徒の発達段階や教科の特性による指導方法の課題を把握し、指導の改善を行っていくことが大切だ。

景気対策を急げ！市の対応は調布保谷線を最大限活用せよ！

鈴木　久幸（自民・無）

質問　昨今の景気は、大変に悪いと感じている。西東京市の地域社会の一翼を担っていた会社が、倒産や廃業に追い込まれている。このような状況が続けば、市として何らかの対策を考えなければならないと思うが。

答弁　当市の法人市民税の構成比率が毎年減少傾向であり、原油等の価格高騰に伴い、企業活動に深刻な影響が出ていると認識している。国・東京都の動向に注視し、市として可能なものについては努力したい。


調布保谷線の予定地（富士町6丁目）

質問　調布保谷線は市の大動脈になる道路だ。この道路を中心に、土地利用及びインフラ整備を進めるべきと考えるがどうか。

答弁　沿道部分の用途地域を定め、建物の規制、誘導をしている。地元の要望があれば、地区計画で土地利用の規制等を検討したい。

質問　最近、排出したプラスチック容器包装類を収集業者が回収しないとの相談があったが、実態はどうか。

答弁　苦情は把握している。分別の方法を正しく理解していただくために、直接出向いて説明をしている。

質問　エコプラザがオープンしたが、その活用はどのように考えているのか。

答弁　環境学習など３Ｒの推進拠点施設として、有効活用していきたい。

議員の活動と生活を妨害　報酬の全額供託はやめよ！

森　てるお（無所属）

質問　なぜ報酬を全額供託し、議員に渡さないのか。

市長　議員が一部を辞退した。条例は月額の全額払い。一部支払いは条例違反。

質問　支払期日に全額を直接本人に支払えというのが、労働基準法の規定だ。何日か待て、一部待てとは言えない。貸借関係者が来ても渡さないのが、支払う側の義務だ。給与は受け取る側の意思で、分割可能な債権だ。

市長　市には義務がある。

質問　全額供託の例は。

部長　他市の例は参考にしない。法的に分割できない。

質問　箕面市は1カ月で全額供託を部分供託に変えた。債権は分割できる。

部長　一般論では分割できるが、議員は寄附行為禁止により公選法違反になる。

質問　分割しない根拠は公選法と条例のどちらか。

部長　両方だ。

質問　公選法が根拠で、条例上分割できないという前回の答弁は訂正するのか。

市長　根拠は2つの理由だ。

質問　並立と理解した。寄附行為の成立時期はいつか。

部長　把握してはいない。

質問　総務省見解は市が収納したとき。分割は可能だ。

部長　議員は公選法が絡む並立ではないのか。

質問　条例は全額支給。分割支給は地方公務員法違反。


市民農園（富士町6丁目）

みどりの保全と持続可能なまちづくりを！

山崎　英昭（民主・社）

質問　市民がみずからの手で活用できる農地がすぐ身近にあれば、みどりの保全のみならず、町の特色・魅力の一つとなり得る。生産緑地を買い取り、農地をそのまま市民農園として活用することを提案する。

答弁　体験農園の確保に努めてきたが、今後の研究・検討課題とする。

質問　公共施設の屋上・壁面緑化を積極的に進めていくべきだ。

答弁　みどりの保全や確保、活用に努めてまいりたい。


メダリストを招いての実技指導（きらっと）

合併検証を後期基本計画に生かせ　介護人材発掘に相談会の実施を！

納田　さおり（無所属）

質問　行政力の強化、市民参加、情報公開など合併で得たものは多い。しかし、新市建設計画で起債した合併特例債の公債費が財政の圧迫要因にもなっている。合併を検証し、後期基本計画に反映させるべきだ。

答弁　合併で新たな事業展開と行財政改革を得たが後年度負担も生んだ。後期基本計画では身の丈に合った行財政運営への転換を図る。

質問　介護現場の職員確保は極めて深刻な現状である。近隣市でも行っている東京都福祉人材センター主催の「福祉の仕事相談面接会」を本市でも実施し、地域の人材発掘に取り組むべきだ。

答弁　実施に向け調査研究を行う。

質問　今後認知症高齢者が増えていく。施設整備の状況は。また、認知症サポーター養成講座の受講状況は。

答弁　グループホームは整備計画数に達していない。講座の修了者数と養成者数は26市中1位の実績である。

質問　平成21年度中に母子保健センターが取り壊されるが、乳幼児健診等の母子事業の継続はどうするのか。

答弁　乳幼児健診には1回60～70組が訪れている。代替施設を慎重に検討したい。

意見　中学校給食実施を心待ちにしている多くの市民に具体的な情報の提供を！

子育てにいい街！健康にいい街　めざそう都市宣言！

桐山　ひとみ（民主・社）

質問　子どもを妊娠、出産するに当たり、経済的負担軽減が一番の要望だが、23区との地域格差があることに対する市の見解と子育て支援策について問う。

答弁　三多摩格差はますます広がっており、妊産婦の健診や子どもの医療費など、財政基盤の格差、すなわち東京都の財政調整などによる支援のあるところとないところの格差となる。市長会では絶えず話題になっており、今後とも格差是正に努めるよう、東京都にも要望していく。

質問　今後も特定健診、一般健康診査、がん検診の無料化継続を望むが、考えは。

答弁　健診内容及び自己負担については、今後の財政状況を見据えた上で判断をしていきたい。

質問　健康管理として市民の生涯にわたる健康に対する記録が残るよう生涯手帳の交付をしてみてはどうか。

答弁　現在、東京都医師会で生涯健康手帳のサンプル版を作成している。医師会との会合でも本市で活用できないか提案をしている。今後は、どのような手帳が有効で効果があるのかについて関係機関の意見を聞き、検討していきたい。

意見　保健や医療のみならず、多分野での健康の向上を目指す「都市宣言」を！

質問　街路樹等のスペースを市民に開放し、市民との協働による、花や街路樹の美しいまちづくりを。

答弁　検討課題であると認識している。

質問　庁用車への電気自動車導入と公共施設への急速充電器の設置を提言する。

答弁　国や東京都の動向も踏まえ、調査研究する。

質問　公平、公正な市政の実現のために、収納体制・債権回収・滞納整理の強化に積極的な取り組みを。

答弁　先進事例を研究し、より効果的な対応方法について検討する。

質問　市民の立場に立ったワンストップサービスや総合窓口の充実を。

答弁　効果や課題について検証し、より使いやすく、便利な窓口の実現に努める。

一般質問（4）

北多摩北部医療圏での中核病院と医師会及び行政の連携

二木　孝之（民主・社）

質問　武蔵野市などの北多摩南部5市では、4大疾病の1つとされる脳卒中患者の治療からリハビリ、在宅医療までの患者情報を共有する体制づくりを開始した。

西東京市を含む北多摩北部医療圏の取り組み状況は。

答弁　切れ目のない脳卒中診療連携が構築されることとなる。北多摩北部医療圏では取り組みを始めたところであり、今年度末に中間報告が予定されている。

質問　学校施設の耐力度調査に着手する時期だと考えるが、中原小学校、ひばりが丘中学校の老朽化と教室不足への対応方針を示せ。

答弁　中原小学校は全面建て替えが望ましいと考えている。移転も視野に入れ検討する。ひばりが丘中学校も建て替えが望ましいと考えている。建て替えは、国庫補助の対象となることが判断基準であり、21年度に耐力度調査を実施したい。

質問　図書館は「いつでも、どこでも、だれでも、なんでも」の理念を掲げている。保谷駅前図書館の開設を機に、新座市民にも貸し出せるよう検討してはどうか。

答弁　一方的なサービス提供になる危惧から、西東京市民の理解を得ることは難しいと考える。相互利用の偏りに伴う費用負担の調整など、ともに検討したい。



「お元気！」
撮影：柴田雅子さん（芝久保町在住）の作品

後期基本計画、「イオン」出店に伴う環境アセスについて問う

相馬　和弘（民主・社）

質問　平成15年に策定された基本構想・基本計画は、4つの重点プロジェクトと6つのまちづくりの方向性を示した。前期5カ年の達成度、到達点、積み残しの課題を市民にわかりやすく示す必要があるが、どうか。

市長　総合計画事業を行政評価の対象とすることで、達成状況や課題・問題点について把握してきている。

質問　廃プラの資源ごみがAランクからDランクになった。原因の分析と今後の対応、対策は。

市長　リサイクル協会からの受け取り拒否という最悪の事態は避けなければならない。再度原点に立ち返り、対処していきたい。

質問　隣接する東久留米市への大型ショッピングセンター「イオン」の出店計画に伴い環境アセスが提出されたが、市長はどのような意見書を提出したのか。計画では、駐車場台数が2千20台、1日当たりの自動車交通増は平日で約8千台、休日では約1万4千台と示されている。評価書案では「特に問題はない」としているが、渋滞、騒音等、周辺の環境悪化が危惧される。

市長　生活道路への自動車流入対策、児童の通学時の安全対策、適切な情報提供について配慮するよう市長として意見書を提出した。

西東京市を「アニメの町」へ　芝久保町4・5丁目の溢水対策

森　信一（民主・社）

質問　西東京ブランドとして市内の大手企業やアニメ制作会社の協力を得て、「アニメの町」として西東京市をアピールできないか。

市長　イベントなどでご協力いただきながら、積極的に「アニメの町」のアピールに努めていく。

質問　就労支援センターや各福祉作業所に対し、市として今以上に就職や仕事確保などの支援ができないか。

市長　各作業所の特色を勘案しながら、積極的に取り組んでいく。

質問　芝久保町4・5丁目の東京街道沿いの溢水対策として、具体的にテニスコートの地下や民間駐車場の地下などをお借りして、貯留施設を設置できないか。

市長　都市計画道路、公共施設の建て替えや公共施設用地の活用を図りながら、計画的な溢水対策を進めていく。

質問　当市では、青少年問題を子育て支援部と教育部が担当しているが、2つの部署の情報の共有など、今後の組織体制のあり方についてどう考えているか。

市長　現在も2つの部署が連携協力をして各事業を実施している。

教育長　情報交換を密にし、地域の方々や健全育成団体、子育て支援部とも連携を図っていく。



「市民まつりのパレード」
撮影：しまちゃん（緑町在住）の作品

一般質問（3）

防災対策はもちろん市全体の危機管理体制の構築を！

望月　伸光（民主・社）

質問　後期基本計画に新しく危機管理体制の整備が加わったが、どのような内容・範囲の危機を想定し、どのような整備を行うのか。

答弁　危機管理の仕組みの構築をこれから行う。

質問　防災指揮所訓練（図上訓練）を6月に提案した。この訓練は、想定の中で災害発生時の被害状況を収集分析して、実働する人員（職員等）をいつ、どこで、何をさせるかという状況判断とその措置を市の災害対策本部でいかに判断し、命令指示を下すのかという指揮幕僚活動の訓練である。この訓練に取り組む自治体はまだ少ないが、東京都では毎年1月ごろに行っている。当市でも取り入れるべきと考えるが市長の見解は。

答弁　私も都議会議員のときにこの訓練を体験し、大変有益だと考える。防災指揮所訓練は、実施に向けて検討する。

意見　防災指揮所訓練は、災害発生時の対応能力の向上はもとより、そのノウハウを積み上げていけば危機管理全般に応用ができると考える。また、危機管理は重要だが、現在10人体制の危機管理室では人員が少なすぎると考える。危機管理体制の整備と同時に、危機管理室の体制の充実も図るべきだ。

レジ袋の削減でごみを減量し、減量効果で袋料金を引き下げよ！

佐藤　公男（公明）

質問　これまでも高齢者へのごみ袋の無料配布、ごみ袋への広告掲載を提言した。さらなるごみの減量のためにはレジ袋の削減は欠かせない。町田市のようにスーパーと連携し、レジ袋のかわりに市指定袋をばら売りして、レジ袋を削減せよ。

答弁　レジ袋減量は必要。町田市を踏まえ、検討する。

質問　回収に2、3日の幅がある粗大ごみの回収日を、さらにきめ細かく改善せよ。

答弁　収集業者と調整しながら検討する。

質問　イオン出店への道路対策を東久留米イオンに近接するひばりが丘団地西側の市道111号線の早期拡幅と、フォレストレイク（マンション）北側・市道1465号線への車の流入対策を。

答弁　団地建て替え時に10m拡幅する予定。交通安全対策も含め、前向きに検討する。

緊急経済対策として高齢者にごみ袋を無料配布せよ！

中田　惠美子（公明）

質問　景気後退が明確になり、市民生活は危機に直面している。経済対策として、特に生活弱者である70歳以上の方々を減免対象とし、有料ごみ袋を無料配布せよ。

答弁　年齢という条件だけで、手数料を減免することは考えていない。

質問　平成20年度行政評価の結果、敬老行事補助金事業は「抜本的見直し」となっているが、これまで日本を支えてくださった方々に敬意を表する敬老行事は、継続すべきではないか。

答弁　地域における高齢者の生きがいとなる事業である。慎重に検討していく。

質問　現在ホームページのバナー広告は、掲載枠すべてが埋まっており、新規事業者から「掲載したいが、できない」との声を聞く。カテゴリーページも含め、枠を増やすべきではないか。

答弁　システム的には可能である。検討する。

全小学校にAEDの早急な設置を　西東京市も特定不妊治療の助成を

小幡　勝己（公明）

質問　財政健全化法の指標と今後の財政状況の分析は。

市長　従来にない指標での財政分析は評価するが、多角的な財政状況判断が必要。

質問　多摩26市で西東京市だけが小学校にAEDを未設置だ。早急に設置せよ。

教育長　不妊に悩むご夫婦の経済的負担軽減のため、練馬区や文京区、多摩市等多くの地域で特定不妊治療費の追加助成を実施している。当市でも実施せよ。

市長　特定不妊治療は1回の費用が高額、課題とする。

質問　ゲリラ豪雨、都市型災害の安全対策に全力を！

市長　計画的対策を進める。

部長　調布保谷線開通により溢水が緩和されると予測。

質問　田無警察署管内の自転車事故率が全東京で悪い方から2番目ぐらいと聞く。今後の市の取り組みを問う。

市長　昨年度の管内の交通事故905件のうち自転車事故は486件54％と大変高い割合。啓発活動を続ける。

質問　小中学校等の地デジ対応について教育、防災の観点からも積極的な対応を。

教育長　費用は、チューナーとアンテナで608教室6千500万円、方法論等検討中。

質問　環境省ではエコアクションポイント事業を推進している。当市でも検討を。

市長　検討する。

粗大ごみの氏名記載の取り市民サービスの向上のため改善を

新井　五郎（公明）

質問　粗大ごみを廃棄するときは、担当に電話をし、必要な金額のシールを張り、指定された場所・時間に粗大ごみを出します。このとき、氏名の記載を求められていますが、排出された粗大ごみが確認できれば氏名記載の必然性がありません。取りやめの改善を求めます。

答弁　氏名の記載につきまして、希望される市民の方には名前を記載するのではなく、記号化する等の対応を検討します。

質問　狂犬病予防法で飼い犬への犬鑑札の装着が義務づけられています。いかつい鑑札ではなく、飼い主にも親しまれるようなデザインへの変更を提案します。

答弁　ご提案のデザインや大きさの変更は、装着率の向上につながることから、今後検討を進めます。

質問　いつ発生するか予知できない地震ですが、命を守る耐震シェルターが開発されています。市が制度を始めれば都も補助をします。

答弁　西東京市でも耐震改修促進計画を策定し、木造住宅耐震診断助成事業などを実施しています。今後、耐震シェルター助成事業などの新規事業について、東京都市区町村や関係団体から情報収集をし、研究してまいります。

旧保谷地域の駐輪場が100円に　中学校給食実施に向けて前進！

佐々木　順一（公明）

質問　原油高騰等が市民生活を直撃し、市内の中小企業が相次いで倒産・廃業に追い込まれている。来年度予算で救済対応を図れ。

市長　国や都の動向を踏まえ、市として検討したい。

質問　ひばりヶ丘駅のまちづくり単なる道路整備事業でなく、面的なまちづくりが求められている。調布市のように新たな街並みを創出するため、北口商店街のカラー舗装化を図れ。

市長　商店街の皆様と意見を交換し、検討したい。

質問　1市2制度の料金が統一！我が党が要望した駐輪場一時利用料金を10月から100円に統一することを評価する。整備センターの事業収支を市が管理せよ。

市長　経営状況を把握し、毎年度収支集計を報告する。

質問　青嵐中の給食自校方式に固執せず、自校方式が可能な学校は実現を図れ。

教育長　検討委員会で議論の俎上にのったが、最終結論には至らなかった。

質問　栄町1・2丁目境を走る市道204号線の道路整備と栄小学校の通学路との危険な丁字路の改修を図れ。

市長　丁字路等の危険箇所は改善を検討したい。

部長　補修は道路整備選定委員会で審査・検討したい。

調布保谷線の街並みは緑豊かな歩きたくなる洒落た新名所に！

岩越　笙子（公明）

（仮）障害者福祉総合センターについて

質問　特別支援学校の卒業者は5年間で100人と予測されるが受け入れは可能か。

答弁　センター建設後、生活介護事業所の定員枠の拡大や他の作業所と合わせて受け入れは可能である。

質問　都は相談支援事業を4カ所で開始した。市は生活保護世帯の若者を対象に事業を行っているが一般家庭も対象にすべきでないか。

答弁　教育委員会の不登校・ひきこもりセーフティネットや都と連携を図る。

オンデマンドバスの導入について

質問　乗客の希望・予約に合わせて走るバスで、利用者が少ない経路でも対応でき、経費も少ないと聞くが、導入を考えてはどうか。

答弁　新交通サービスであり、今後検討していく。

調布保谷線によるまちづくりについて

質問　地区計画による方法も検討されているようだが、高さや色使いの統一とれた3.9kmの全体的な景観のデザインが必要ではないか。通学区域への影響や約40本の交差道路については、地域住民の方に十分説明し、理解を得る必要がある。

答弁　都と協議していく。



市道204号の丁字路（栄町2丁目）

中学生までの医療費無料化早期に　市民・事業者とともに温暖化対策

倉根　康雄（共産）

質問　現在、中学3年生までの医療費は、23区が無料、多摩26市は2割負担だ。多摩が無料化に踏み出せない理由は区部との財政力格差だ。都議会で共産党が中学生までの無料化を提案、都は「方法や時期などを区市町村と協議をし、具体的な内容について検討を進める」と答弁した。具体的な協議、検討状況を伺う。

答弁　都は、区市町村と十分に話し合いを行うことが重要と答弁している。市も所得制限の撤廃と補助率の引き上げを都に要望したい。

質問　地球温暖化対策について太陽光発電の助成や低所得者世帯へのエコ電球の無料配布、中小事業者の省エネ装置導入への補助など、支援策を検討せよ。

答弁　環境審議会の意見を伺いながら検討したい。

質問　東大農場の売却予定地の公共的活用の具体案は。

答弁　市民に親しまれている桜並木部分はまちづくりに資する利用を検討する。

質問　雇用促進住宅の民間への積極的売却方針が定められ、向台宿舎もその対象だ。まちづくりにも大きな影響をもたらすと考えるが、市の対応は。

答弁　平成17年に市に照会があったが財政的理由で購入の意思なしと回答。今後、売却の推移を注視する。

在宅介護サービスの独自支援を！　ごみ収集改善対策を求める

藤岡　智明（共産）

質問　介護保険制度改定で在宅介護サービスの回数や時間制限、同居家族がいるためのサービスの制限などで、悲鳴が上がっている。市として利用時間延長への支援、同居家族による介護困難ケースへの支援、外出介助や老老世帯への生活援助サービスの拡充を求める。

市長　国制度の範囲の中でできる限り柔軟に対応する。同居家族がいる場合については、厚労省通達に基づき柔軟に行っていく。

質問　その他プラスチックごみの品質がAからDランクへ落ちたが、今後の改善対策、未回収ごみ対策、ごみ収集に関する市民調査の規模、内容について問う。また、ごみ出し困難な高齢者、障害者へのふれあい収集の対象者拡充を求める。

市長　収集については、中身をきちんと確認し、必要な指導を行う。中間処理業者には汚れたものを除く作業等の強化を依頼する。市民の努力が無駄にならないように対処していく。未回収ごみについては個別説明を行い、丁寧な対応を図る。

部長　有料化後1年経過した時点で4千世帯を対象に、ごみに対する意識の変化、指定収集袋利用状況等、率直な市民の意見を把握したい。ふれあい収集については、今後の検討課題とする。

用語の解説

○ティーボール
野球・ソフトボールに似た球技。細長い台の上に置いたボールをバットで打つところが特徴。容易にプレイできることから、子どもや高齢者にも広がりが期待されている。

○耐力度調査
老朽化した建物に対して、建物の構造耐力、経年による耐力低下、立地条件による影響の3点の項目を総合的に調査し、建物の老朽化を総合的に評価するもの。学校施設については、文部科学省の補助事業で、一級建築士資格を有する者が行う。

○バナー広告
ウェブページ上に画像や文字などを張りつける形式のインターネット広告のこと。この広告をクリックすることで掲載先のサイトが表示される。

○不登校・ひきこもりセーフティネット
東京都の委託を受け、平成20年度から始める事業。不登校傾向の児童・生徒や自宅以外での生活の場が失われてしまうことが懸念される若年者に対し、関係機関等と連携して社会との接点を持たせるための適切な支援を継続的に講じる。

○ふれあい収集
市の事業として、高齢または障害等の理由で、みずから家庭廃棄物を持ち出すことが困難な世帯に対し、家庭廃棄物の収集を独自に行うもの。事業の対象世帯は、申請に基づき、要介護状態の区分や障害の程度により判断する。



一般質問(5)・臨時会の審議から

子ども・高齢者・市内業者が安心して暮らせる市政に！

保谷　清子（共産）

質問　物価高騰に対応した、低所得者・市内業者への支援策を求める。

答弁　小学校給食に係る緊急支援策を補正予算に計上した。さらに検討していく。

質問　「地域包括支援センター」、「ささえあい訪問協力員事業」への市の体制強化を求める。

答弁　高齢者支援課地域支援係の体制強化等に努める。

質問　「母子健康手帳」を見直し、父親の積極的な子育てを促すものに。

答弁　「父親ハンドブック」を配布している。「手帳」の工夫等を行っていきたい。

質問　経済的に困窮している父子家庭に独自支援策を。

答弁　国と他自治体の動向を注視しつつ、今後、調査・研究していきたい。

質問　学校選択制が導入されて6年目となった。教育の専門家も交えて検証を。

答弁　目的や意義を踏まえての検証は必要と考える。

親子方式弁当持参可能の中学校完全給食の方針を高く評価し、歓迎

安斉　慎一郎（共産）

質問　中学校給食庁内検討委員会の中間報告に沿って進めよ

質問　中学校給食庁内検討委員会の中間報告は「学校給食法に基づいた完全給食について小学校で調理されたものを中学校に提供する親子調理方式として実施する。アレルギーの生徒や家庭の食事への考え方に配慮して、家庭弁当持参を可能とする。」としている。これを高く評価し、心から歓迎する。この中間報告の基本方針に変更があるのか。


学校給食（栄小学校）

答弁　中間報告の内容に変更はない。

自民・公明の前市政は、中学校完全給食に背を向けた

意見　自民党・公明党を与党とした前市政は、学校給食法に基づく完全給食に背を向け、外注弁当を実施し、実現に向けて進むことを遠ざけ、時間を浪費してきた。平和市長会議への加盟について見解を問う。

答弁　広島市長、長崎市長が呼びかけ、世界の2千200の自治体が加盟している平和市長会議に、今年3月に加盟した。2020年までの核兵器の廃絶を目指す運動に協力している。

質問　地震は職員の勤務時間内に発生するとは限らない。24時間常駐を検討せよ。

答弁　今後研究する。

質問　小・中学校の2学期制の検討状況について。

答弁　教育委員会で検討中。12月末をめどに方向性を出していきたい。

意見　性急に進めず、十分に市民・保護者・教職員の意見を聞くことを求める。

質問　小・中学校の演劇鑑賞教室の充実を求める。

答弁　芸術・文化に触れることは大切。検討していく。


外国語活動（碧山小学校）

小学校の英語活動では英語嫌いをつくらない工夫を

保谷　七緒美（※）（無所属）

小規模作業所の法内化と政策的随意契約制度の活用について

質問　福祉的観点から必要と思われる場合、公共契約を例外的に随意契約によって行うことができる。これを活用して、小規模作業所の法内化を促進すべきではないか。

答弁　小規模作業所が法内化してからでないと、この政策的随意契約制度は使えない。法内化が先だ。

インターネット上の個人情報の露出について

質問　アメリカ資本の検索エンジンで、公道から撮影した映像を見ることができる。これにより西東京市もかなりの面積が網羅されている。プライバシーの侵害のおそれがあり、防犯上も課題がある。このサービスについて、市に苦情は寄せられているか。その内容は。

答弁　2人から来ている。自治体レベルでの対抗策を講じてほしいとの内容だ。

小学校における英語活動について

意見　2011年から小学5・6年生で外国語活動が必修化される。週1時間、年35時間という限られた時間の中で行うのだから、最低限の獲得目標をはっきりさせることと、英語嫌いをつくらない配慮をすべきである。

子ども・親の元気な育ちを実現する子育て支援計画を

板垣　洋子（生ネ）

質問　子育て支援事業の地域との連携は。また専門性と非専門性、市民性が適切に提供されているか。

答弁　地域子育て支援センター設置の計画がある。地域との連携、専門性、非専門性を有効に活用し、親自身が持つ子育て力を高めることは必要である。

質問　防災について、①外国人に向けての適正な情報発信体制②女性の視点を生かした防災対策③ハザードマップの公表について。

答弁　①FM西東京を使っての情報提供を検討する。②避難者のプライバシー確保に留意し運営することになっている。③溢水地域の防災市民組織や市内公共施設での配布を予定している。

質問　第4期介護保険事業計画の基本的な方向性は。

答弁　在宅、地域密着型サービスの充実を図りたい。

質問　65歳を迎える障がい者は、適切に介護保険への移行ができているか。

答弁　個々の状況に合わせて、柔軟な対応をしている。

質問　医療と介護の連携・整備の必要性は。

答弁　連携の強化は大きな課題になっている。

◇局地的豪雨は総合的雨水対策計画作成の上、進めよ。

◇芝久保町3丁目、北町5丁目の公園整備については市民の理解を深めよ。

答弁　条例の制定も含め、緑の保全、再生、創出の施策については検討する。緑の維持・保全は本市にとって重要な課題。基金の扱いは調査・研究を続ける。

人にやさしいまちづくり条例の施行後の状況と、飛鳥ドライビングカレッジ跡地のマンション建設計画

質問　建物の高さ制限の検討はどのような方法で進め、いつまでに定められるのか。

答弁　高度地区策定のためのアンケート調査を実施中。慎重に検討を進める必要があるため、来年度以降の着手になる。

◇子どもが利用する施設の遊具の安全性◇交通安全計画の取り組み状況と地域交通会議◇中高生の居場所づくり◇学童クラブの子どもたちの食の保障

環境優先のまちづくり緑を守る姿勢を条例や基金で示せ

大友　かく子（生ネ）

ごみの収集と減量の推進

質問　廃棄物減量等推進員の活動に期待する。収集委託業者との連携で、きめ細かい対応ができるのではないか。また、説明会を継続して開催すべきである。

答弁　推進員には啓発活動等にも協力を求めたい。説明会はごみの減量・資源化の状況報告も含め、定期的に実施したい。

緑化政策について

質問　緑地確保条例の策定と、緑化基金の分離・復活を求める。

臨時会の審議から

西原保育園の園舎建て替え工事に伴う工事請負契約の締結について審議を行うため、7月3日に第2回臨時会を開催しました。ここでは、その概要をお知らせします。

「工事請負契約の締結について」

【説明】西原保育園の園舎建て替え工事の請負契約を締結するもの。5月に行った最初の入札が、参加業者全社の入札辞退により不調となったため、再度公告入札を行った。


建設中の西原保育園

制限付一般競争入札を電子入札により執行し、大谷建興㈱が2億2千858万5千円、落札率99・86％で落札した。

工事は老朽化による建て替えと入所枠の増加を目的とし、工期は平成21年3月6日まで。同一敷地内の心身障害児通所訓練施設「ひよっこ」も一体とした建て替え工事を行う。

【主な質疑】

問　設計に当たって、現場の意見や子どもの活動を考慮したのか。

答　過去に建築した保育園の意見を参考にし、また、現場の職員から成る検討委員会をつくって検討した。

問　1回目の入札が不調に終わった原因は。

答　建築資材の急激な高騰や原油価格の上昇に伴い、積算見積額が予定価格を上回ったことを辞退理由とした業者が多かった。

問　今年度中に予定されている、ほかの工事の見積もりや契約も同じ状況だと思うが、対策や考え方を伺う。

答　今回の入札では、設計内容の見直しなどを行い、建築工事から附帯工事を分離して再度公告入札した。

入札不調を避ける方法を事前に担当課と協議しながら、今後の契約行為を行いたい。

問　分離した附帯工事の内容と分量は。また、追加工事はいつごろを予定しているのか。

答　昇降機設備、調理器設置、外構工事を分離した。それぞれ1千500万円前後、800万円弱、2千万円強を見込んでいる。11月中に発注し、12月には着工したいと考えている。

【結果】賛成全員で同意

※平成20年9月18日付で無所属となりました。

委員会の審査から、予算の審査から、会議の開催状況

委員会の審査から

議案や皆さんから提出された請願・陳情は、原則として所管の常任・特別委員会等で審査を行います。ここでは、第3回定例会で議決された主な議案等の審査の概要をお知らせします。

企画総務委員会

「手数料条例の一部を改正する条例」

【説明】オウム真理教犯罪被害者等を救済するための給付金の支給に関する法律の公布に伴い、公安委員会または給付金の支給を受けようとする者に対して、オウム真理教犯罪被害者等の戸籍事項を無料で証明できる旨を、新たに規定するもの。

施行日は、法律に合わせ、平成20年12月18日とする。

【結果】賛成全員で可決

「議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例」

【説明】地方自治法の改正に伴い、同法を引用している条項の規定を整備するもの。

【結果】賛成全員で可決

文教厚生委員会

「教育委員会の委員の定数を定める条例」

【説明】地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、条例を定め教育委員を6人以上とすることが可能となった。地域住民の多様な意向を教育行政に反映し、的確に対応するため、その定数を6人と定める条例を制定するもの。

【主な質疑】

問　「他市や他区に見られない学校のA訪問」とはどのようなものか。

答　教育委員、部長、課長が丸1日学校訪問をして、午前は生徒の様子を見たり授業参観を行い、午後は研究授業の参観、全先生方との協議会への参加、意見交換等を行う。

問　教育委員を5人から6人にすることの必要性は。

答　合併市の特殊性から6人必要と考えている。中学校給食の問題、校舎の老朽化、通学区域の見直し、適正配置・適正規模等、本市が抱える課題・問題に早急に対応しなければいけない。委員が6人になることで、学校と連携しながら保護者や地域の住民の声にこたえられる教育が実現できると確信している。

【結果】附則中の施行日を「平成20年4月1日」から「公布の日」に修正し、賛成全員で可決

建設環境委員会

「西東京市における地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例」

【説明】条例の地区整備計画区域にひばりが丘3丁目を主な区域とする「ひばりが丘地区」を加え、区域内の建築物の用途、容積率及び建ぺい率の最高限度、敷地面積の最低限度、壁面の位置の制限、高さの最高限度の制限など、建築物の制限に関する事項を、建築確認手続の審査項目とするために定めるもの。

【主な質疑】

問　東久留米市域にまたがる開発だが、計画等の流れはどうなっているのか。

答　地区計画は、両市とも6月20日付で定めている。地区計画を決定する市は違うが、まちづくりとしては一体で調整してきている。

【結果】賛成全員で可決

「飛鳥ドライビングカレッジ跡地の高層マンション建設計画に関する陳情」

【趣旨】住民のプライバシー保護、周辺の環境や安全に配慮し、地域住民の要求に丁寧に対応してほしい。


飛鳥ドライビングカレッジ跡地（谷戸町2丁目）

【結果】附則中の施行日を「平成20年4月1日」から「公布の日」に修正し、賛成全員で可決

「西東京市における地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例」

【説明】条例の地区整備計画区域にひばりが丘3丁目を主な区域とする「ひばりが丘地区」を加え、区域内の建築物の用途、容積率及び建ぺい率の最高限度、敷地面積の最低限度、壁面の位置の制限、高さの最高限度の制限など、建築物の制限に関する事項を、建築確認手続の審査項目とするために定めるもの。

【主な質疑】

問　東久留米市域にまたがる開発だが、計画等の流れはどうなっているのか。

答　地区計画は、両市とも6月20日付で定めている。地区計画を決定する市は違うが、まちづくりとしては一体で調整してきている。

【結果】賛成全員で可決

「飛鳥ドライビングカレッジ跡地の高層マンション建設計画に関する陳情」

【趣旨】住民のプライバシー保護、周辺の環境や安全に配慮し、地域住民の要求に丁寧に対応してほしい。

【結果】いずれも賛成全員で採択

議会運営委員会

「政務調査費の情報公開に関する陳情」

【趣旨】政務調査費の報告書、領収書を、情報公開室でいつでも公開してほしい。

【主な質疑】

問　情報公開コーナーで申し出があった場合、田無庁舎では議会事務局に案内することは徹底されているか。

答　情報公開コーナーとの連携がきちんとできておらず、情報公開条例の手続により対応していた。議会事務局で閲覧する場合の手順の徹底については、関係部署と正式に協議する。

問　情報公開は閲覧と写しの交付の2つがあるが、いずれも議会事務局でできるのか。

答　閲覧資料のコピーについては、情報公開コーナーと同様に情報公開条例に基づく費用の実費をいただく。

問　閲覧台帳の写しを保谷庁舎にも置く必要はないか。

答　開示閲覧の希望が多い文書ではないので、議会図書室での閲覧をお願いしたい。

意見　市議会としては、既に1円単位で領収書を付して公開しており、積極的な情報公開に努めている。陳情のように保谷・田無両庁舎の情報公開コーナーにこれを置くということは、経費、事務作業、物理的な紙の量なども含めて、現状では難しいと理解する。

【結果】「議会として政務調査費の情報公開には積極的に努めているが、今後とも可能な限り努力されたい」との意見を付して趣旨採択

予算の審査から

第3回定例会では、9月17日・18日の2日間予算特別委員会を開催して平成20年度補正予算の審査を行いました（保谷駅南口地区第一種市街地再開発事業特別会計予算については、駅周辺再開発等特別委員会で別途審査）。ここでは、その主な内容についてお知らせします。

◆一般会計

【説明】歳入歳出予算の総額に13億5千43万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ627億1千43万6千円とするもの。

歳入の主な項目は、大手法人等の業績による法人市民税の増額2億3千852万2千円、普通交付税の交付額決定に伴う地方交付税の減額2億6千189万3千円、19年度決算に伴う特別会計の精算や財政調整基金の取り崩しによる繰入金の増額6億5千131万3千円、前年度繰越金の増額6億3千753万3千円など。

歳出の主な項目は、市税還付金の増額、職員退職手当基金・まちづくり整備基金への積立金などによる総務費の増額2億3千512万6千円、西原保育園園舎新築等工事の増額、地域福祉基金への積立金などによる民生費の増額1億6千687万9千円、小中学校のプール排水切替等工事や天窓墜落防止具設置工事の追加などによる教育費の増額6千621万5千円、財政調整基金への積立金による諸支出金の増額8億8千100万円など。



田無第4号踏切（芝久保町1丁目）

【主な質疑項目】

・法人市民税の大手法人実績増と傾向、法人市民税の還付金について

・本市が普通地方交付税の不交付団体になる可能性、法人市民税の増との関係について

・小中学校の天窓について子ども目線での安全性の検証を。

・天窓の機能まで阻害する工事は必要ない。教育の中のしつけの問題ではないか。

・地場野菜が給食に出る割合、農家と栄養士との関係、食材費高騰による給食費の早期適正化について

・田無第4号踏切の歩道が片側通行であることへの対策、西武鉄道との交渉について

・在宅歯科医療連携事業の対象者、本格実施時の負担と保険対応について

【結果】賛成全員で可決

◆国民健康保険特別会計

◆下水道事業特別会計

◆中小企業従業員退職金等共済事業特別会計

◆老人保健（医療）特別会計

◆駐車場事業特別会計

◆介護保険事業特別会計

◆保谷駅南口地区第一種市街地再開発事業特別会計

【結果】以上、賛成全員で可決

会議の開催状況（平成20年7月～9月）

7月

3日　第2回臨時会・本会議

23日　企画総務委員会、文教厚生委員会、駅周辺再開発等特別委員会

24日　建設環境委員会

30日　議会報編集委員会

8月

25日　議会運営委員会

9月

1日　全員協議会

2日　議会運営委員会

5日　第3回定例会・本会議（議案等上程～議決、付託）、議会運営委員会、予算特別委員会、議会報編集委員会

8日　本会議（一般質問）

9日　本会議（一般質問）

10日　本会議（一般質問）

11日　本会議（一般質問、議案等上程～付託）、議会運営委員会

12日　企画総務委員会、文教厚生委員会

16日　建設環境委員会

17日　予算特別委員会

18日　予算特別委員会、決算特別委員会

19日　駅周辺再開発等特別委員会

22日　議会運営委員会

25日　本会議（委員会審査報告、議員提出議案等上程～議決）、議会運営委員会

西東京市 議会だより

議決結果（議案、請願・陳情）、意見書、お知らせ

第2回臨時会・第3回定例会 議案の議決結果一覧

○賛成　×反対

件名 ＼ 会派（ ）は所属議員数	西東京自由民主党・無所属(9)	西東京市議会公明党(6)	民主党・社民クラブ(6)	日本共産党西東京市議団(4)	生活者ネットワーク※2(3)	無所属・市民の目(1)	無所属・市民派無所属(1)	※1無所属・未来を拓く市民会議(1)	結果
第2回臨時会									
その他 ・工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	／	同意
第3回定例会									
補正予算 ・一般会計予算（第2号） ・国民健康保険特別会計予算（第1号） ・下水道事業特別会計補正予算（第2号） ・中小企業従業員退職金等共済事業特別会計補正予算（第1号） ・老人保健（医療）特別会計補正予算（第1号） ・駐車場事業特別会計補正予算（第1号） ・介護保険特別会計補正予算（第1号） ・保谷駅南口地区第一種市街地再開発事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例制定 ・教育委員会の委員の定数を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	修正可決
条例改正 ・手数料条例 ・議会政務調査費の交付に関する条例 ・職員の公益法人等への派遣等に関する条例 ・西東京市における地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例改正 ・特別職報酬等審議会条例 ・議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例 ・非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償等に関する条例 ・市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
委員会提出議案 ・市議会会議規則の一部を改正する規則	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
委員会提出議案 ・地方消費者行政の抜本的拡充に必要な法制度の整備及び財政措置を政府等に求める意見書 ・保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案 ・多摩地域の「裁判所の本庁化」及び「裁判所八王子支部の存置」を求める意見書 ・子宮頸がん予防ワクチンに関する意見書 ・ヒトＴ細胞白血病ウイルス1型（HTLV-1）関連疾患に関する意見書 ・汚染米、事故米事件の徹底解明と再発防止、輸入米の安全を求める意見書 ・介護報酬の地域係数是正と介護人材確保に関する意見書 ・「非核日本宣言」を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案 ・新たな地方公会計制度における会計基準の整備に関する意見書	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
議員提出議案 ・遠藤源太郎議長に対する信任決議	○	○	×	×	×	×	×	○	可決

継続審査
- 都市計画税条例の一部を改正する条例
- 平成19年度一般会計歳入歳出決算の認定について（ほか特別会計決算認定８件）

議決不要
- 遠藤源太郎議長に対する不信任決議（議員提出）

※1　平成20年9月18日届出　　※2　平成20年9月18日以降の議員数2

請願・陳情の結果

（　）は付託委員会

採択されたもの

○東京電子自治体共同運営サービスにおける入札参加資格申請の代理申請システムの構築に関する請願（企画総務）

○「地方消費者行政の抜本的拡充に必要な法制度の整備及び財政措置を政府等に求める意見書」の採択を求める請願（文教厚生）

○「非核日本宣言」を求める意見書採択についての陳情（企画総務）

○公共施設樹木等への農薬使用削減に関する陳情〈趣旨採択〉（企画総務）

○公共施設室内での殺虫剤の使用に関する陳情〈趣旨採択〉（企画総務）

○保険でよりよい歯科医療の実現を求める意見書採択に関する陳情（文教厚生）

○西東京市在住の私立小・中学校就学者に対する教育費助成についての陳情（文教厚生）

○西東京市新町一丁目都営住宅跡地の緑地保全に関する陳情（建設環境）

○飛鳥自動車教習所跡地のマンション建設計画に関する陳情（建設環境）

○田無駅南口広場の早期実現に関する陳情（建設環境）

○飛鳥ドライビングカレッジ跡地の高層マンション建設計画に関する陳情（建設環境）

○政務調査費の情報公開に関する陳情〈趣旨採択〉（議会運営）

不採択となったもの

○青森県六ヶ所村核燃料再処理工場本格稼働の中止と放射能海洋汚染放出規制法の法整備を国に求める請願（企画総務）

○市議会議員報酬の昨年12月議会での引き上げ分の次回改選まで凍結を求める陳情（企画総務）

○特別職（市長等）給与の引き下げを求める陳情（企画総務）

○市議会議員報酬の引き上げ分の凍結を求める陳情（企画総務）

○議員報酬問題に関しての陳情（企画総務）

○特別職（市長等）給与を引き上げ前の給与から市長の意向どおりそれぞれ引き下げることを求める陳情（企画総務）

○食の安全確保のため膨大な放射能を放出している青森県「六ヶ所再処理工場」の稼働の中止とその閉鎖を求める意見書の提出に関する陳情（企画総務）

○保育園入園指数に関する陳情（文教厚生）

継続審査となったもの

○「協同出資・協同経営で働く協同組合法」の速やかな制定を求める意見書に関する請願（企画総務）

○1歳6カ月児歯科健康診査の個別化移行実施に関する陳情（文教厚生）

○（仮称）芝久保町三丁目公園敷地の地中に貯留槽及び浸透槽の設置に関する陳情（建設環境）

○豪雨による道路冠水及び家屋等浸水被害に対処する機能・設備設置に関する陳情（建設環境）

○市議会の運営に関しての陳情（議会運営）

○本会議の傍聴に関する陳情（議会運営）

○議会運営について市民にわかるように改善を求める陳情（議会運営）

○議会改革に関する陳情（議会運営）

※　その他に第2回定例会以前からの継続案件で、今定例会においても継続審査とされた案件が6件あります。

今定例会で可決した意見書

地方消費者行政の抜本的拡充に必要な法制度の整備及び財政措置を政府等に求める意見書

【提出先】内閣総理大臣、総務大臣、消費者行政推進担当大臣、衆議院議長、参議院議長

保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書

【提出先】内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長

多摩地域の「裁判所の本庁化」及び「裁判所八王子支部の存置」を求める意見書

【提出先】法務大臣、衆議院議長、参議院議長、最高裁判所長官

子宮頸がん予防ワクチンに関する意見書

【提出先】内閣総理大臣、厚生労働大臣

ヒトＴ細胞白血病ウイルス１型（ＨＴＬＶ-１）関連疾患に関する意見書

【提出先】内閣総理大臣、厚生労働大臣

汚染米、事故米事件の徹底解明と再発防止、輸入米の安全を求める意見書

【提出先】内閣総理大臣、農林水産大臣

新たな地方公会計制度における会計基準の整備に関する意見書

【提出先】内閣総理大臣、総務大臣、衆議院議長、参議院議長

介護報酬の地域係数是正と介護人材確保に関する意見書

【提出先】内閣総理大臣、厚生労働大臣

「非核日本宣言」を求める意見書

【提出先】内閣総理大臣

お知らせ

○議会運営委員の就退任（平成20年9月18日付）

退任　保谷　七緒美

就任　板垣　洋子

○駅周辺再開発等特別委員の就退任（平成20年9月18日付）

退任　保谷　七緒美

就任　大友　かく子

○駅周辺再開発等特別委員会の委員定数変更（平成20年9月25日付）

12人（変更前11人）

○駅周辺再開発等特別委員の就任（平成20年9月25日付）

就任　保谷　七緒美

○会派の変更等（平成20年9月18日付）

「生活者ネットワーク」

板垣　洋子（代表者）

大友　かく子

「無所属・未来を拓く市民会議」

保谷　七緒美

○第4回定例会の開催

市議会第4回定例会は、12月5日（金）から開催する予定です。詳細については、定例会前に開催される議会運営委員会で決定しますので、決まり次第ホームページに掲載します。

請願・陳情は11月28日までにご提出ください

請願・陳情はいつでも受け付けていますが、第4回定例会で審査を行うためには11月28日（金）までにご提出いただく必要があります。

詳細については、議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

晩秋の空さわやかな季節、いかがお過ごしでしょうか。

私達新人議員が、初めての定例会で審査に臨んだ平成19年度予算に関する決算審査も終了しました。早いもので、来月開催される第4回定例会が終わると、議員の任期の半分が終了し、議会報編集委員も改選を迎えます。

議会の様子を活字でわかりやすく正確にお伝えすることはとても難しく、毎号活発な議論を交わしてきました。この市議会だよりを通じて、議会の様子が少しでも身近に感じていただければよいのですが…。西東京市議会は原則公開しています。機会がありましたら、田無庁舎の議場へ傍聴にいらしていただけるとうれしいです。（O）

R70 古紙配合率70%再生紙を使用

お問い合わせ
議会だよりについて　議会事務局庶務調査係　☎042-460-9860
傍聴等について　議会事務局議事係　☎042-460-9861
市議会ホームページ　http://www.city.nishitokyo.lg.jp/sigikai/index.html